

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/19号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FOMCタカ派にもゴールド下げず

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



マーケットの注目点であったCPIとFOMC、双方ともにほぼ市場予想通りの結果となりました。CPIは4%、政策金利は据え置き。FOMC後のパウエル議長の会見では、今後二回、合計50bpの金利上げの可能性が示唆され、内容的には非常にタカ派的なものとなりましたが、ゴールドは現在のレンジを破って下げることはなく、それが逆にゴールドの堅調さを強調する結果となり、金曜日にはゴールドは大きく反発、最終的には週初と変わらぬ1960ドル近くで一週間が終わることになりました。環境としては、ゴールドにとっては大きく下げたおかしくないものであったのにも関わらず、下げなかった。これで下げないのであればゴールドは下がらない、という印象をマーケットに与えました。だとすれば行く方向は一つ、上げ、だけということになります。ゴールドとは逆にドルは売られ、長期金利は低下しました。ドル円は特に、FOMCでの金利上げ、それもおそらく年内に二回という表明がなされたその翌日金曜日の昼に日銀は大規模緩和の継続を発表し、午前中下落していた日経平均株価も午後からプラス転、ドル円は円安へと大きく上昇。米金利の上昇と円金利の低位堅持がはっきりしたのですから、これは円安へのお墨付きと言っていいでしょう。一週間の終わりは141.80円まで上昇、円建てゴールドもNYの引けベースでは8930円と史上最高値まであと40円というレベルまで急騰して終わりました。円建てゴールドは上昇するしかないという状況が強調された一週間となりました。短期的に気になるのは日銀の介入でしょうが、これだけファンダメンタルズがはっきりと円安を支持する動きになっているところで介入したとしてもその効果はあくまで超短期的になるでしょう。ドル金利の低下と円金利の上昇が目に見える形で同時に起こらないかぎり、トレンドは変わらないでしょう。円建てゴールド1グラム1万円も十分視野に入っているでしょう。

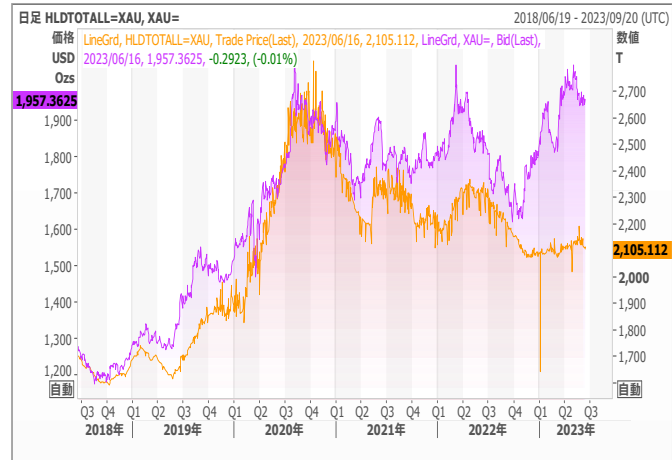
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「Gold Focus 2023より」

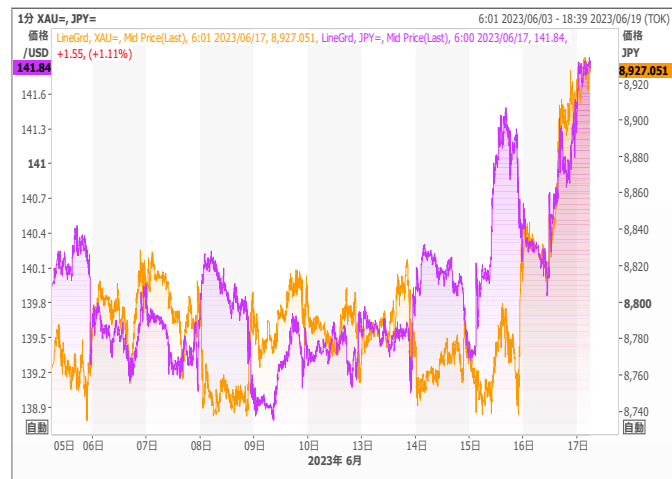
先日発表された「Gold Focus 2023」から世界のゴールド鉱山生産の様子を見てみたいと思います。世界のゴールド生産国はやはり中国375トン。続くのがロシア324.7トン、オーストラリア313.9トンで、この3国が300トンを超える量を生産しています。200トン台の生産国はなくいので、それに続くはカナダ194.5トン、そして米国172.7トン。第三グループはガーナ127トン、ペルー125.7トン、インドネシア124.9トン、メキシコ123トン、ウズベキスタン110.8トン、マリ101.7トンとここまでの11か国が100トンを超える100トンクラブでした。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

Top 20 Producing Countries

Tonnes	2021	2022	Y/Y
China	332.0	375.0	13%
Russia	330.9	324.7	-2%
Australia	307.2	313.9	2%
Canada	192.9	194.5	1%
United States	186.8	172.7	-8%
Ghana	124.7	127.0	2%
Peru	127.3	125.7	-1%
Indonesia	116.4	124.9	7%
Mexico	124.8	124.0	-1%
Uzbekistan	104.9	110.8	6%
Mali	99.3	101.7	2%
Burkina Faso	102.7	96.2	-6%
South Africa	113.6	92.6	-18%
Brazil	93.1	86.7	-7%
Kazakhstan	76.6	81.9	7%
Sudan	85.1	80.1	-6%
Guinea	65.0	63.5	-2%
Colombia	59.9	60.4	1%
Bolivia	45.7	53.4	17%
Tanzania	50.4	50.9	1%
Others	841.6	867.1	3%
Global Total	3,580.7	3,627.7	1%

Source: Metals Focus

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

